

石川社保協ニュース

2020年9月2日

920-0848 金沢市京町24-14

Tel076-253-1636 F076-253-1459

メール: kaigo@imir.jp

http://www.imir.jp/syahokyo/index.htm

石川県選出国會議員に要請行動を行いました。



9月1日石川県社保協は、石川県選出の国会議員事務所を訪問して、要請行動を行いました。突然の訪問でしたが、すべての事務所でお茶を出していただき、懇談することが出来ました。近藤和也議員の事務所では、岡野定たかし県議会議員と会うことが出来ました。

医療機関・介護事業所に公的資金を

医療介護で働く人にPCR検査の義務化を

寺越事務局長は、「医療機関・介護事業所が新型コロナウイルスの影響で疲弊している。医療機関・介護事業所は、社会を支えるもので公的資金



の導入をお願いしたい」嵯峨事務局次長（県医労連書記長）**近藤和也事務所**で **岡野定 たかし**県議会議員

は「現場で働いている人の願いは、自分が感染源となりたくないということだ。ニューヨークでは、医療・介護で働く人等、社会を支えるエッセンシャルワーカーには、PCR検査が2週間に1回無料で行えるようになっている。厚生労働省の8月の通達は、PCR検査について、自治体の判断で実施できることとなっている。国の制度として、実現してほしい」と訴えました。

訪問した議員 馳 浩 衆議院議員 佐々木 紀衆議院議員 西田 昭二衆議院議員
岡田 直樹参議院議員 山田 修路参議院議員 宮本 周二参議院議員
近藤 和也衆議院議員

藤野保史衆議院議員とは、8月22日に石川県に来られた際に、社保協として懇談しました。

様

石川県社会保障推進協議会

代表委員 飯森 和彦

同 奥村 回

同 桶間 諭

同 橋本 明夫

同 松浦 健伸

国会を開会して、新型コロナウイルス感染対策の 審議を求める等の要望書

貴職におかれましてはますます御清栄のことと存じます。新型コロナウイルス感染対策でのご奮闘に敬意を表します。

現在、石川県内でも新型コロナ感染拡大が広がっています。新型コロナ感染拡大から県民の健康、暮らし、そして地域医療提供体制を守るために、下記の要望事項の実現に向けて国に働きかけていただきますようお願い致します。

記

1. 国会を開会して、新型コロナウイルス感染対策について審議を行うこと。
2. 医療・介護にはたらく人たちに国の保障による新型コロナウイルスの PCR 検査の義務化を行うこと。

院内・事業所内感染が起きないように対策をとること。

3. 医療機関・介護事業所の昨年度の年収を確保できるように公的資金の導入を行う こと。

以上